

令和5年度 第1回 舟橋村立舟橋小中学校 学校運営協議会 会議録（概要）

日 時 令和5年6月7日（木）15：30～

場 所 舟橋会館 2階研修室

出席者 良峯喜久男（舟橋中学校同窓会長）、前原英石（体育協会会長）、深川敦夫（自治会連合会長）、山岸克彦（立山舟橋商工会副会長）、堀内英里子（舟橋中学校育成会長）、松越正純（舟橋小学校長）、川崎和夫（社会福祉協議会長）、京角由美（主任児童委員）、高野良子（舟橋図書館長）、松下雅人（舟橋会館長）、土田聡（統括コーディネーター）、沙魚川恵子（小学校担当マネージャー）、野村智浩（中学校担当マネージャー兼社会教育委員代表）、早川誠一（教育長）、海見英里（舟橋小学校教頭）、小林仁美（舟橋中学校教頭）、平澤千織（学校教育係主任）、金山智彦（社会教育係長）、田屋真佐美（社会教育係主任）

欠席者 山多麻子（舟橋小学校育成会会計）、内生蔵保人（舟橋中学校長）

（1）開会挨拶

<早川教育長>

徐々に学校と地域が近づいてきたかなと感じてきている。広報で月ごとに配布している学校だよりの記事でも、地域とのつながりが見えている。

小学校では、安全見守り隊の出発式や交通安全教室、クラブ活動での外部講師でも多くの地域の方に協力していただいていることがよくわかる。

中学校では、部活動指導員として、今年は6名の地域の方に指導していただいている。昨年からずいぶん増え、ありがたいことだと感じている。

コムスク協議会を立ち上げ2年目となり、いろんなところで地域との活動が出てくるようになったところだと嬉しく感じている。

●舟橋村学校運営会規則について〈補足説明〉

※資料舟橋村学校運営会規則に基づき説明

○（趣旨）第2条について

・地域との密着を進めていきたいと思いますといった内容

○（委員の任命）第9条4及び（守秘義務）第10条について

・団体の代表として参画していただいている。

任期は2年で、立場上変わられた方については、残任期間1年となる。

・委員は特別職の地方公務員の身分を有するとの記載がある。本会議で個人情報が出てくることはあまりないと思われるが、内容によっては外に出すことが好ましくないよう等はあるかと思しますので、守秘義務があることも念頭に置いてほしい。

人数は多いが、気楽に意見を出し合える会議にしていきたい。

（2）委員紹介

※資料舟橋村立舟橋小中学校運営協議会委員名簿 参照

(3) 役員選出

<事務局> 事務局の方で推薦する方をご紹介します。

会長を良峯委員様、副会長を前原委員様にお願いしたいと思っておりますがご承認いただけますか。

<全委員> 拍手

<事務局> これを持って互選による選出とさせていただきます。【承認】

(4) 会長挨拶

<良峯会長>

只今、再選し、学校運営協議会の会長を拝命いたしました同窓会会長の良峯です。委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご参加くださり、ありがとうございます。

コロナが5類に引き下げられたことで、5月26日の舟橋中学校の創校記念式に参加し、生徒のはつらつとした姿を拝見し、大変嬉しく思っています。5年度に入って初めての協議会ですが、委員の皆様には、連携・協働を念頭に置いてご意見を出していただき、進行にご協力をお願いしたい。

(5) 協議事項

<良峯会長>

それでは協議に移ります。まず、①小中一貫教育の方針についてと②各学校の運営方針について、併せて学校の説明を伺います。

それでは、①の小中一貫教育について、中学校小林教頭先生よりお願いいたします。

① 小中一貫教育について

<小林教頭>

※資料 舟橋村「9年間の学びの世界」構想

～日本一小さな村だからできる連携、付けられる力～ 参照

○【地域連携】

- ・昨年度から、「ふなはしの川でつながる環境教育」を軸にした9年間の学びを進めている。小学校では、以前より細川の清掃を6年生の親子活動として進めている。また、サクラマスの稚魚の放流や竹鼻地区の用水での蛍の生態調査も実施している。
- ・中学校では、オレンジパークのビオトープの再生や京坪川の清掃を予定している。小学校でしっかりと環境教育をしてきた子供達が中学1年生になっているので、その1年生にも活躍してほしいと現在計画を立てている。
- ・1年通して、川の環境を守るための活動を進めていく予定。また、サクラミーツや舟橋まつり、文化祭などの地域行事への参加も行う。
- ・地域人材の活用という点では、小学校では、田植え体験。中学校では、創校記念式での記念講演を行っている。以前、同窓会長からも学校の歴史について講演いただいたが、今年度は、卒業生に海外青年協力隊でマラウイに派遣される予定の小林さんからお話いただく予定。書初めの指導として、竹島和子先生からも指導いただいた。

・このように令和4年度もいろんな方にご協力いただき、日々の教育活動が豊かなものになっている。中学校では、7月実施予定の14歳の挑戦でふなはしテトラにコーディネートしていただき、今年度は村内での受け入れが9か所、立山町で3か所、上市町で2か所、許可をいただいている。このような機会を十分に生かして、すべての子供達の可能性を生かしていけるよう努めていきたいと思っている。

・これらの活動を通して、地域の環境に関する知識・理解を深めるように、“自分は何をしていけばいいのか”生き方を考えさせたり、ふるさとに対する理解や愛着心を育んだり、連携・協働する力を育んだりしたいと考えている。

・令和3、4年度の実践概要と同じように引き続き活動を進めていき、令和5年度の重点というところで力を入れていきたい。

○【人格形成】

・心の耕しとして、読書活動を推進している。

中学校では、日々の活動としては、8時20分から10分間、朝の読書タイムを設けています。選ぶ本は、子供たちに任せており活字のものを読む時間としている。

小学校では、貸出カードによる読書推進を実施、様々なほんとの出会いがあるように工夫している。

年間の活動の中には、中1年生が小学校に出向き、絵本の読み聞かせを行っている。

この準備の為、図書館の館長さんを始めスタッフの皆さんから、相手が興味を持ってくれる本の読み方の講習で指導をいただいている。

・挨拶運動、縦割り活動での上級生と下級生との交流活動を実施し、相手の立場を理解して助け合う場面、思いやる場面、認め合う場面を作っている。

・機会を捉えて授業を見合うごけん授業を実施し、小中それぞれの子供の理解に努め、指導に生かしていきたいと考えている。

○【心と体の健全育成】

・体I C T機器の利活用の推進がなされているところだが、反面、スマホ等の長時間利用が大きな課題となっている。目の健康や睡眠の大切さ等を子供たちに知らせていきたいと思っている。小中ともに、生活リズムチェック表を通して、年間を通して継続的な指導を行っていききたい。これらの問題に関しては、各家庭の理解が必要なところでもあるので、今後、育成会とも協力し合って進めていかななくてはいけないところだと考えている。

・スマホについては、利用の仕方、情報モラルについても心配、情報の扱い方についても継続して指導していく。

・伝統的に「立腰」も取り入れている。腰を立てて、姿勢正しく学習することもしている。講演に来られた講師からも、「姿勢よく聞いてくれて気持ちがいい」と褒められており、引き続きやっていきたい。

○【協働学習】

・“学び合う”事を重視しています。以前より『ふなはし学び合いスタイル』として、『○

○上手になろう！』(例“読み上手”、“書き上手”、“聴き上手”、“話し上手”になろう)という言葉を各学年の教室に掲示し、授業者はもちろん、子供達にもわかるようにして掲示してある。

・読む、書く、聴く、話すの言語活用のスキルを子どもの発達段階に合わせて設定したもので、小中の研修会でお互いに話し合っただけのものではない。子どもにとっては、ほぼほぼ無意識な部分かもしれないが、教員が授業の指導計画を立てる時に意識して組み込んでいる。

・今年度も、図書館の協力のもと読み聞かせ活動を行う。

家庭の推進も行っており、小学校では、子供の発達段階に合わせた指導を推進する。

・中学校では、TO DO リストを使って、自分がやるべきだなと思うことをリストにする。そして、自学ノートを活用し、自主的な学習が進められるようにしている。

・生徒達は、小学校からほとんど変わらない仲間と中学校で過ごすため、一番配慮したい点は、地域連携、多様な他者とのかかわりというところ。小さな子供達から地域の大人たちに関わってもらうことは貴重な機会である。自分で経験する機会を確保し成すことで“自分で学ぶこと”を大切に、ここに掲げた子供像を地域の方々と一緒に目指し、実現していきたい。

<良峯会長>

ありがとうございました。

続いて②の学校の運営方針について、説明を小学校松越校長先生、お願いいたします。

② 各学校の運営方針について

※資料 令和5年度舟橋村立舟橋小学校 学校要覧 参照

<松越校長> <補足説明>

こちらの要覧は、今ほど説明のあった「9年間の学びの世界」構想を受けてグランドデザインをしている。小学校では、小中だけでなく、幼保との接続も大切にしており連携も進めている。

目指す子供像を支える柱として、今年度は、“笑顔あふれる魅力ある学校”を目指している。自信と誇りをもって子供と向き合う教職員を理想の教職員像として掲げている。重点目標は「主体性と思いやりの心の育成」としている。

○【自主性と思いやりの心の育成】(今年度の重点目標)について

・自主性とは、決められていることを率先して行うことだが、主体性は何も決まっていない状態において、何をすべきが自ら考え行動することを指す。思いやりの心とは、相手の気持ちを想像し、どのようにしたらうまくよっていけるかを考え、行動に移していける素地となるものです。

・教職員においては、まずは子供理解、そして支持的、共感的な集団作りに努めている。次に自ら考え、主体的に行動できる場づくり。異学年を含んだ他者との関わり合いを仕組みたり、活動後に自己を見つめ振り返る場や方法を工夫したりすることが求められて

いる。

○【思いやりの心の育成】について

・今年度も挨拶を取り上げている。小学生の挨拶が進んでいないのではないかとの地域の方々からも声も耳にしているが、この辺りは、児童会が挨拶運動を展開している最中のため、今後の盛り上がり期待しているところ。

○【望ましい生活習慣の育成】について

・生活実態調査票を基に、「食事」や「睡眠」にスポットを当て、マイベスト生活リズムを作ろうというテーマで自らの生活を見つめ直している。今年度より、2年間、富山県教育課程研究集会の保健の推進校として、授業提案等を県内に発信していく立ち位置となっている。そこで、健康主題も“心と体の健康づくりを主体的・対話的に実践していく子供の育成”とした。学校において授業を展開していくが、12月7日の県東部研究集会では、約140名の方々を招いた学習公開が開催予定。

○【ふなはし学び合いスタイル】について

・今年度も“話し上手”“聴き上手”に力を入れて進めていく。特に、“話すこと”の前に“聞くこと”に重点を置いて、安心して話せる場づくりの最中である。

○【                                  

<良峯会長>

ありがとうございました。

続きまして、中学校小林教頭先生、お願いします。

<小林教頭> 〈補足説明〉

※**資料** 舟橋村立舟橋中学校令和5年度 学校要覧 参照

○学校の教育目標は、「学びの精神をもち、仲間を思いやり、たくましく生きる生徒の育成」。

○【全体計画】(グランドデザイン) について

・昨年始まった3年計画の2年目。昨年度実践した内容を見直しし、今年度も引き続き実践していく予定。

・学びの精神について

学校の前庭に石碑があり、そこには“学び”ではなく、“学ぶ”という主体性を含んだ言葉ではなのではないかと考え、学びの精神を“主体的な探求心”と捉えている。それに加え、知・徳・体の基盤となる自主、自律や自他の自由と個や集団の責任を大切に育てていくことを考えている。

○本年度のアクションプランについて

3つの部会に分かれて取り組み、実践は全員で行っている。

【知】について

・ふなはし学び合いスタイルを見直ししながら実践していく。

・家庭学習を定着させるため、TO DO リスト&自学ノートをきちんと活用させ、それに対して教員がコメントを書き、支援するという活動をしている。これを“100% 行う” “やるならしっかり行う” ということで100%という数字を上げている。

【徳】について

・学校教育目標の基盤なるものが“道徳性”であると考え、特に、自主、自立、自由と責任の項目に重点を置いて授業を行っていく。同時に委員会活動も行っていますが、それが自主的で楽しい活動となるように居場所づくりという面でも充実した活動になるようにしていく。自主・自立について、道徳の授業を各学期2回実施している。

【体】について

・低視力者の子供達が増えてきているので、TO DO リストを活用し、子どもとの関係づくりを含めて支援をしながらメディアのコントロールを進めていく。

・週に1度助言をすることを100%行うことを目標としている。

○研修の取組みについて

・主体的、対話的で学びの深い授業に大切なことは、生徒への問いであることを出発点としている。副題として、確かな学力を実現させるための課題設定、発問のあり方について研究を進めている。

○【連携・協働体制】について

・7月の14歳の挑戦については、近く実施予定である。

・テトラの放課後学習教室では、中学生が算数の学び直しをする等の支援をしていただ

いており、また、英検チャレンジ教室 英語の技能習得の支援をしていただく予定。

- ・放課後には駄菓子屋さくらんぼでの手伝いをさせていただいている中学生もいる。
その中で、自分が役に立っているという実感を得ている子が何人もいます。

○職員構成について

- ・柄崎教諭、作田教諭は英語専科として、小中学校行き来しながら授業をしている。
松井栄養教諭、山下通級教諭、佐伯学校司書、ALT ゼイヴィア先生、郷田 SC、
小中行き来して見ている。この方々を通して小中の連携が図れている。

○現在について

- ・4～6月を過ごしての大きな変化としては、新2年生が少人数の2クラスから37名という大きな集団になったが、落ち着いて授業を受けている。
- ・長期欠席については、3年生で4名おり、それぞれ状況は違いますが、フリースクール利用、SSWの支援を受けている生徒がいる。3年生4名とも高校進学を希望しており、模試への一歩が踏み出せるよう支援している。
- ・このような活動を通して、学校としては、基本的な社会性や豊かな人間性を育てるような豊かな教育を進めていきたい。

<良峯会長>

協議事項1、2に関して承認して良いと思われた方は挙手をお願いいたします。

<全委員>

挙手

<良峯会長>

挙手多数と認めましたので、協議事項①、②は承認といたします。【承認】

<良峯会長>

続いて、③学校予算の概要・施設設備等の整備について、事務局からお願いします。

③ 学校予算の概要・施設設備等の整備について

<事務局>

※令和5年度歳出予算の概要 資料参照

<早川教育長>

補足として、小学校の体育館のLED化については、昨年、中学校の体育館も同様に行った。これは、もうすぐ水銀灯の生産が打ち切りとなるためによるものである。他にも、舟橋会館の、小学校のナイター照明等も該当する。完全になくなってしまうと困るので、年次計画を立てて順番に付け替えを進めている。

英語関係については、継続事業で説明なかったもので、テトラの英検チャレンジ教室を昨年から12回ほど開催している。自分が使用しているタブレットを持ち寄り、2、3回目の英検にチャレンジしようよというもので、1人1人の端末に英検ネットドリルは入っており、自分で勉強できるが、ここに来るとALTのゼイヴィア先生や先輩大学生が質問に答えアドバイスをしてくれる。

大体6千円ほどかかるのだが、半額の3千円を村で補助したところ、延べ24名が受験し、全員合格した。5名は、一度目に合格して次の級に挑戦し合格している。予算は40名分みであるので、昨年より増えると嬉しい。

一連の流れとしては、今年からゼイヴィア先生にすきっぷ園でも英語教室に行ってもらっている。こども園でもYMCAの英語教室がありまして、保育所時代から始まって小中と一連の学ぶ機会があるという村の取り組みのゴールとして、英検を目指そうと子供達に投げかけたものである。英語に親しんできた子供達にぜひそこでパフォーマンスを発揮してほしい。

<良峯会長>

保健体育費の部活動指導員の報酬についてだが、この単価は安いのか高いのか、どういった計算で導かれたものなのか。

<金山係長>

部活動指導員事業については、県の補助を受けている。1人1,600円で申請したところ、承認を得られたため、1,600円で行っている。活動時間は、210時間とは決まっておらず、指導員の方の都合等に合わせて決めている。

<良峯会長>

月曜から金曜まで、毎日指導しているわけではないという解釈でよいか。

<金山係長>

毎日来ていただいているわけではなく、指導員さんの都合に合わせてきていただき、それに応じて謝金をお支払いしている。

<早川教育長>

付け加えると、これは国の事業であり、スポーツ庁、文化庁の事業である。国も県も出し、村も出しているという補助事業である。上限は210時間で、週に4時間で年間35週という計算の仕方である。

今年から、バスケットの指導に来てくれている方が熱心な方で、足りなくなる可能性があるという話を聞いている。その場合は、補正させてもらい、十分やってほしいと考えている。

スポーツエキスパートは、県の事業。部活動指導員との違いは、部活動指導員は顧問がいなくても指導します、引率もしますという方。スポーツエキスパートは、指導はするが、顧問も子供達についている必要がある。

<前原副会長>

舟橋村の教育費は県下でも相当高く、14%くらいだったかと思うので、ありがたい話ではある。例えば、LED工事などは、予定価格より200万円くらい安く、他にも図書館等での入札で出た差金が出ている。ただ、それが教育費として使えなかったら実質12~11%になってしまう。せっきく教育費として予算化されたものであれば、例えば、差金を教育関係の他の予算に充てるはできないのか。

<早川教育長>

ごもっともだと自分も思うが、村の方針としては、余ったから他に充てるというものではない。ただ、秋口で分かっているものについてはうまく流用し他に充てるという裏わざは何かあ

るような気もする。

<前原副会長>

例えば、入札が終わってから年度末まで期間がある場合、協議して他に充てることでせつかくの教育費のパーセントを維持出来たらよいなと感じている。

<良峯会長>

協議事項③について、承認して良いと思われる方は挙手をお願いします。

<全委員>

挙手

<良峯会長>

挙手多数と認めましたので、協議事項③は承認といたします。【承認】

<良峯会長>

④地域学校協働活動について、ふなはしテトラ協働本部統括コーディネーター土田委員に説明をお願いいたします。

④地域学校協働活動について

<土田委員> <補足説明>

※資料地域学校協働活動について PPT 資料参照

令和5年度の活動について 1～7

○算数学習会

- ・今年度からは、学習会として算数だけに留まらず、様々な学習を行っている。
- ・定期学習会と長期休業中の学習会を舟橋会館で行っている。大学生、社会人で指導者登録をしている方が12名、そのうち村内在住が9名。昨年、大学4年生が3名いたため、その方々はここから抜けたが、新たに加わった方々もいる。
- ・登録児童生徒数については、元々は小学生を対象としていたが、募集を中学生までに拡大したところ、中学生の申込みが多く、現在は、中学生が多い状況になっている。
- ・今年の中3募集してないが、どうしてもという希望があり、参加している。定期学習会は年間75日、長期休業中の学習会は16日間、8月21日～25日、12月25日～28日、1月4、5日、3月25～29日を予定している。
- ・本来は、中学へ進学する小6の子供達のおめでとうテスト対応の予定であったが、申込みがなかったので、小3から全学年対象で行っていた。

○14歳の挑戦

- ・今年度は7月3日から7日。4月から、テトラで事業所の受入依頼に行きました。18事業所に依頼をし、14事業所に承諾をいただいた。常願寺川公園スポーツクラブに道の駅ができるということで受入可能なるようなので、次年度より依頼する予定。
- ・事業所にはVドラックも依頼したが返答がなかったため、次年度に再度依頼する予定。
- ・今回受け入れ人数は45名、実際生徒は37名と受け入れ人数の方が多くなっている。

上市中と三条中と時期がかぶり、事業所の取り合いになっているので、道の駅やVドラックが大丈夫であればあえてかぶるところに依頼する必要はなくなる。

- ・来年に向けての改善点としては、7月終了した後、すぐにお礼に伺う予定。

○ながら見守り隊

- ・昨年度に発足し、140名の登録があり、登録者には帽子を配ってかぶって見守りをしてもらっている。ただ、村内にまだ知られていないので、今年度はのぼり旗を作った。各自治会にも配って目立つところに立ててもらって、舟橋村が防犯意識の高い村だぞということを村だけでなく村外にもPRしていきたい。
- ・今年度、ポロシャツも作りたいと思って予算もとっているのですが、また何か意見があれば考えていきたい。

○各種団体からの依頼

- ・富山行政相談センターから、行政教室の開催の依頼があり、6年生対象で校長に依頼し受け入れを行った。
- ・子どもかがやき教室から、村内のいろんなところの見学がしたいということで依頼があり、分遣所やふれあい農園に見学依頼をした。
- ・社会福祉協議会より依頼のあった認知症サポート講座については、小学校に受け入れを依頼済み。今日新たにボランティア体験の依頼もあったので、小中に依頼に行きたいと思っている。

○文化祭

- ・今年度はすでに企画委員会が終わっている。実施内容や講師について協議した。昨年は、文化祭のステージの司会や展示会場の監視などを学習会に来ている村内の大学生に依頼しており、今年度も同様にする予定。できるだけ若い子たちが文化祭等の行事に参加できるようにという思いでしている。昨年は舟橋まつりの企画にも大学生2名が参加した。今年はそれが生かされてくるかなと考えている。

○小中学校交流事業の実施

- ・今年度のメインとなる事業。部活動の地域移行に向けた取り組みとして、既存のスポーツ団体に依頼し、小学校の子供達がそのクラブでスポーツを作ってもらえるよう依頼している。野球はスポ少、卓球は卓球クラブ、テニスはFJテニス、陸上は慶応陸上クラブ、バスケはバスケット同好会にお願いしている。それぞれの団体が時間や場所を決めて、子供達に指導を行う。土曜日の豊かな教育活動として、年8～10回お願いしている。

○川の美化活動

- ・小学校からは、ぜひやりたいと聞いているので、地域住民に呼びかけ、川をきれいにする活動に取り組んでいきたいと考えている。

7月広報に、ふなはしビレッジーズのお知らせを入れたいと思っている。“こういう活動をしているよ”ということで地域に広報していきたい。

“ふなはしビレッジーズ宣言”というものがあり、村の安全安心な村づくりについて、『村民みんなでやってみよう！』という呼びかけです。

<良峯会長>

ありがとうございました。委員の方からご質問はありませんか。

<堀内育成会長>

算数学習会が学習会に変わられたということで、登録者25名とのことでしたが、この登録のタイミングはいつで、どのようにされたのか。

<土田コーディネーター>

4月の段階で小中全員に募集チラシを配布して募った。募集については、メールでもOK。

<堀内育成会長>

4月から始まるが、途中からの申し込みでも問題ないのか。

<土田コーディネーター>

全然問題ない。夏休みの特別教室の案内に、通常の学習会の募集もつけて配付する。

<良峯会長>

協議事項④に関して、承認して良いと思われる方は、挙手をお願いいたします。

<全委員>

挙手

<良峯委員>

挙手多数と認めましたので、協議事項④は承認といたします。【承認】

<良峯委員>

その他に入りますが、事務局より連絡事項等ありましたらお願いします。

<早川教育長>

別紙資料について説明します。

舟橋村特別支援体制ということで、昨年度、県で指定もあって特別支援教育について、0歳児から中学校卒業までのスパンで村全体でどのように取り組むかの体制づくりをしてくださいとのことでした。新たにしていくものもあるが、基本的にはこども園、0歳児からの健診もありました。ずっと今までの村の取組をあって、それを縦につないだというものである。小学校からも上がっていたが、保育園小学校の教育の連携という取り組みもしていたのでそこに絡んでくたさるものもあるが、そういった体制を整えて今後も引き続きこの段階ではこの支援が受けられるということを一枚にまとめたものです。

<早川教育長>

小学校の花壇ボランティアについて説明をお願いします。

<土田コーディネーター>

昨年ボランティア募集をして、なかなか役場の前の花壇の整備が大変とのことで、募集をかけたところ、3人方とお子さん1人の4人が応募してくださった。昨年3月に小学校長と話を
して、自由な時間に草むしりなどのお手入れをしていただくということで、私たちの見えない
休みの日や早朝に来て除草や花摘み等をしてくださっている。

<松越校長>

6月の学校だよりで紹介する予定にしている。写真もと思いましたが遠慮されたので、美し
く咲いている花の写真と合わせて紹介させていただく予定。

<土田コーディネーター>

これをもう少し大きくして、たくさんの方が関わってくださる形にしていきたい。また、中
学校にも花壇があるので、そちらもお手伝いしてもらえば広がっていくかなと思っているので、
みなさんからも声掛けをしていってもらえれるとありがたい。

<良峯会長>

皆様には、進行にご協力いただきありがとうございました。

それでは、これで協議を終了いたします。

(6) 閉会挨拶

<前原副会長>

委員の皆様には長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。

人口減少、少子高齢化などで他市町村では小中高校等の統合が叫ばれている。舟橋村につきま
しては、1村1校を今後もこの形は維持していくものと思われるが、今日ご参加の皆様には、
今日の事業も今後の事業についても十分にご理解いただき、舟橋村の子供達を“私たちが育て
ていく”、“学校とともに育てていく”という意思を持っていただき、この組織を発展させてい
きたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。